

ガーナ共和国
天水稲作持続的開発プロジェクト
中間レビュー報告書

平成24年5月
(2012年)

独立行政法人国際協力機構
ガーナ事務所

ガーナ事
J R
12-005

ガーナ共和国
天水稲作持続的開発プロジェクト
中間レビュー報告書

平成24年 5 月
(2012年)

独立行政法人国際協力機構
ガーナ事務所

序 文

ガーナ共和国（以下、「ガーナ」と記す）は、カカオ豆の輸出に代表される農業や金・木材などの鉱業を中心とする第1次産業に依存する経済構造にあり、農業は重要な基幹産業となっています。GDPの30%、就業人口の60%を農業が占め、ガーナがめざす経済成長の加速にむけて農業の近代化、生産性の向上は不可欠な要素となっています。

このような背景の下、ガーナ政府は、稲作による食糧増産を目指す技術協力プロジェクトをわが国に要請しました。これを受け、独立行政法人国際協力機構（JICA）は、生産量増加に向け高い潜在性を有する天水低湿地環境にて粗放的な耕作を行う小規模稲作農家を対象として、天水稲作持続的開発プロジェクトを2009年7月から5カ年の計画で実施しています。

今般、本プロジェクト協力期間の中間期に至り、2012年1月22日から2月11日まで中間レビューを行うべく調査団を派遣しました。本調査は、ガーナ側の調査団と合同で実施され、関係者からの聞き取りを通じてプロジェクトの進捗状況を確認するとともに、評価5項目及び技術的な観点からの評価と提言を調査報告書に取りまとめ、プロジェクト運営委員会（SC）における協議を経て、協議議事録（M/M）として署名を取り交わしました。本報告書は、同調査団による協議結果、評価結果を取りまとめたものであり、今後の同プロジェクトや他の類似プロジェクトの実施にあたり広く活用されることを願うものです。

ここに、本調査にご協力いただいた内外関係各位に深く感謝申し上げるとともに、引き続き一層のご支援をお願いする次第です。

平成24年5月

独立行政法人国際協力機構

ガーナ事務所長 稲村 次郎

目 次

序 文

目 次

地 図

プロジェクト対象地域

写 真

略語表

評価調査結果要約表

第1章 中間レビュー調査の概要	1
1-1 調査団派遣の経緯	1
1-2 調査の目的	2
1-3 調査団の構成	2
1-4 調査日程	3
1-5 主要面談者	3
第2章 中間レビュー調査の方法	4
2-1 評価手順	4
2-1-1 資料レビュー、評価グリッドの作成	4
2-1-2 質問票の作成・回収	4
2-1-3 プロジェクト関係者との面談、インタビュー	4
2-1-4 JCC への報告	4
2-2 評価5項目	5
2-3 評価グリッドによる評価の視点・設問	5
第3章 プロジェクト概要	8
3-1 協力概要	8
3-1-1 上位目標	8
3-1-2 プロジェクト目標	8
3-1-3 成果	8
3-1-4 活動	8
3-2 ガーナ側実施機関	8
第4章 プロジェクトの実績と達成状況	10
4-1 投入実績、アウトプットの実績	10
4-1-1 投入実績（中間レビュー時点）	10
4-1-2 アウトプットの実績	10
4-2 目標達成度の予測	13

4-2-1	プロジェクト目標の達成度予測	13
4-2-2	上位目標達成の予測	14
4-3	実施プロセスにおける特記事項	14
第5章	評価結果	16
5-1	評価5項目による分析	16
5-1-1	妥当性	16
5-1-2	有効性	22
5-1-3	効率性	25
5-1-4	インパクト	26
5-1-5	持続性	27
5-2	技術的観点からの評価	28
5-2-1	改良技術パッケージの確立（成果1）	28
5-2-2	営農・営農支援システム改善策の検証（成果2）	33
5-2-3	普及方法の確立（成果3）	35
5-2-4	持続的天水稲作開発モデル確立の時間的枠組み	38
5-3	結論	38
5-4	PDMの変更	38
5-4-1	中間レビュー用PDM（Ver. 3.0）の作成	38
5-4-2	主な変更項目	39
第6章	提言と教訓	43
6-1	提言	43
6-1-1	技術の類型化	43
6-1-2	営農支援を通じた収益性の確認	43
6-1-3	普及手法と教材	43
6-1-4	プロジェクトの進捗に係るM&E	43
6-1-5	広報	44
6-1-6	出口戦略	44
6-1-7	地方分権化に関する視点	44
6-2	教訓	44
付属資料		
1.	調査日程	49
2.	PDM改訂版（和文・英文）	50
3.	2011年に導入された改良稲作技術	53
4.	トライアルプロットで導入された耕地整備技術	56
5.	アシャンティ州・ノーザン州対象地の地形・水文条件の特徴	59
6.	AEA・C/Pを対象として実施した質問票調査の結果	60
7.	ヘクタール当たり推定稲作収益の検討結果	63
8.	M/M	64

地 图

